



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月14日

上場会社名 株式会社プラザクリエイト本社  
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 黒部 一仁

TEL 03-3532-8812

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 金融機関向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	23,054	2.9	268	13.3	284	24.0	125	61.2
2019年3月期	23,731	7.0	237	287.5	229	144.9	78	

(注) 包括利益 2020年3月期 137百万円 (78.1%) 2019年3月期 76百万円 ( % )

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	9.81		5.5	2.2	1.2
2019年3月期	6.08		3.4	1.7	1.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	12,542	2,305	18.4	181.72
2019年3月期	13,392	2,297	17.2	179.22

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,305百万円 2019年3月期 2,297百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,232	458	284	1,642
2019年3月期	668	570	758	1,153

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		7.00	7.00	89	115.1	3.9
2020年3月期		0.00		7.00	7.00	88	71.3	3.9
2021年3月期(予想)								

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2021年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計) 通期									

2021年3月期の連結業績予想につきましては、業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	13,836,258 株	2019年3月期	13,836,258 株
期末自己株式数	2020年3月期	1,146,701 株	2019年3月期	1,016,701 株
期中平均株式数	2020年3月期	12,813,874 株	2019年3月期	12,832,061 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
(5) 企業集団の状況	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19
4. 個別財務諸表及び主な注記	20
(1) 貸借対照表	20
(2) 損益計算書	22
(3) 株主資本等変動計算書	23

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度において、当社グループは再成長に向け、プリント事業の変革とモバイル事業の出店強化、ならびに将来を見据えた、事業の構造改革に取り組んでまいりました。

モバイル事業におきましては、昨年10月の消費増税や、端末の販売方法をめぐる法規制などにより、事業環境が大きく変化する中、引き続き出店を推し進め、店舗数拡大に伴う販売台数の積み上げや、スマートフォン関連商材の提供など、お客様一人当たりの販売単価の上昇に取り組んでまいりました。また、出店数に対応する人員確保や質の高いサービスを継続して提供できるよう、教育研修および採用を強化してまいりました。

最大の商機である3月においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、一部の店舗における時短営業および休業による来店客数の大幅な減少や、端末機調達の遅延による機会損失等が生じ、携帯電話等販売台数は前年を下回ったものの、業務効率化など生産性の向上につとめ、増収増益となりました。

プリント事業におきましては、構造改革の一環として直営店からフランチャイズ化を積極的に推進し、フランチャイズ店舗は、前連結会計年度末より111店舗増加し186店舗、直営店舗は129店となりました。直営運営事業から卸売上事業への方針転換により売上高は減少いたしました。事業構造改革により販売管理費および一般管理費の削減に努め、収支構造の改善を推し進めることができました。

また、デジタルプリントの自社大型工場を基盤に、当社グループの強みである店舗網とデジタル技術を融合させ、2019年5月にはチーム向けオリジナルアパレル事業「WeTy（ウィーティー）」をリリースした他、法人向けアライアンスの拡充を当社の重点テーマと捉え、SHOWROOM株式会社様が運営する仮想ライブ空間「SHOWROOM」におけるバーチャルタレントのグッズ製作を同社と協業により取り組むなど、“小売業”から“企画会社”への業態転換を推し進めてまいりました。

ハンドメイドをだれでも楽しめるDIYクラフトキット『つくるんです®』は、2018年秋の展開以降、外販取引先が約40法人、取扱店舗が726店舗となり、シリーズ合計出荷数が、37万個に達しました。今後も、さらなるシリーズ拡充と『つくるんです®』ブランドを新たな当社の収益の柱とすべく、マーチャンダイジングと製品開発を進めると共に、新型コロナウイルスの影響により、自宅で過ごす時間が増加する中、当シリーズがその時間を少しでも充実できるアイテムと捉え、オンライン販売についても強化してまいります。

その他、“小売業”から“企画会社”へと業態を一新する方針に併せ、オフィスリニューアルや人事評価制度の刷新なども含めた環境整備と生産性向上にも努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は、230億54百万円（前期比2.85%減）、営業利益は2億68百万円（前期比13.33%増）、経常利益2億84百万円（前期比24.02%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1億25百万円（前期比61.16%増）となりました。

当連結会計年度のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

#### ①プリント事業

当連結会計年度のプリント事業においては、直営事業からフランチャイズ化に転換を推し進める中でコスト削減を実現してまいりましたが、業態転換による売上高の減少の他に、当第4四半期における、新型コロナウイルスによる来店客数の減少が影響し、売上高68億円（前年同期比11.79%減）、セグメント損益は3億85百万円の損失（前年同期比8.84%減）となりました。

#### ②モバイル事業

当連結会計年度のモバイル事業においては、事業環境が変化する中で店舗運営力の強化に取り組んだこともあり、店舗数増加に伴う販売台数の積み上げ及び、お客様一人当たりの販売単価の上昇が順調に推移し、売上高162億54百万円（前年同期比1.45%増）、セグメント利益は6億71百万円（前年同期比6.94%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の総資産の額は125億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億49百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が4億88百万円増加し、受取手形及び売掛金が2億66百万円、商品及び製品が2億70百万円、その他流動資産が1億7百万円、有形固定資産が2億83百万円減少したことなどによるものであります。

## (負債)

当連結会計年度末の負債の額は102億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億58百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が4億76百万円増加し、支払手形及び買掛金が4億40百万円、短期借入金が1億87百万円、リース債務が3億28百万円減少したことなどによるものであります。

## (純資産)

当連結会計年度末の純資産の額は23億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益1億25百万円及び支払配当金89百万円、自己株式の取得38百万円などによるものであります。なお、当連結会計年度末における自己資本比率は、前連結会計年度末の17.2%から18.4%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、前当連結会計年度末に比べ4億88百万円増加し、16億42百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ収入が5億44百万円増加し、12億円32百万円の収入（前期比79.0%増）となりました。主な要因は、たな卸資産の増減額が6億6百万円減少したことなどによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ支出が1億11百万円減少し、4億58百万円の支出（前期比19.5%減）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少81百万円、有形固定資産の売却による収入の減少10百万円などによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べ支出が4億73百万円減少し、2億84百万円の支出（前期比62.4%減）となりました。主な要因は、短期借入金の減少15億円、長期借入金の増加5億48百万円、長期借入金の返済による支出の減少15億30百万円などによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	19.5	16.7	17.2	17.2	18.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	26.8	36.6	34.8	31.6	34.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	107.6	7.9	10.5	10.5	5.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.3	15.9	11.7	9.5	16.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式除く）により算出しております。

※キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染拡大により、当社のすべての事業の実店舗網（FC店含む）では、以下の理由により売上高減少などが発生しております。

- ①路面店の営業時間短縮や営業休止、ショッピングモール等の商業施設自体の営業時間短縮や営業休止に伴う店舗稼働時間の減少によるもの
- ②外出自粛に伴う客数減少によるもの

これらの影響は今後も続くものと想定され、また現時点においてその収束の時期を予測することができません。したがって、現時点で業績に与える影響を合理的に算定することが困難なことから2021年3月期の連結業績見通しについては未定としています。

今後、状況が収束し合理的な業績予想の算定が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

## (5) 企業集団の状況

当社グループは、当社及び子会社2社により構成されており、グループ会社ごとに製品・サービス別の事業活動を展開しております。事業内容は、プリントショップの経営とフランチャイズの展開並びにWebサイトを運営し、デジタルプリントサービス及び写真関連商材等の販売を営むプリント事業と携帯端末等の販売を営むモバイル事業としております。

当社グループの主要会社ごとの主要製品・サービスの事業活動は次のとおりであります。

報告セグメントの名称	主な取扱商品・サービス	主要な会社
プリント事業	デジタルプリントサービス 写真関連商材 写真撮影サービス	(株)プラザクリエイイト (株)プラザクリエイイトスタッフサービス
モバイル事業	携帯端末	(株)プラザクリエイイト

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外での事業展開がなく、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、同業他社の採用の動向を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,745	1,642,456
受取手形及び売掛金	2,179,030	1,912,038
商品及び製品	1,807,747	1,537,509
原材料及び貯蔵品	146,284	170,236
未収入金	752,291	419,306
その他	478,582	371,317
流動資産合計	6,517,681	6,052,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,486,294	2,579,966
減価償却累計額	△993,224	△1,038,593
建物及び構築物（純額）	1,493,070	1,541,373
機械装置及び運搬具	2,158,757	2,023,297
減価償却累計額	△2,027,000	△1,894,057
機械装置及び運搬具（純額）	131,756	129,240
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	2,013,334	2,016,245
減価償却累計額	△977,005	△1,325,207
リース資産（純額）	1,036,329	691,038
建設仮勘定	56,281	67,682
その他	943,579	961,176
減価償却累計額	△728,771	△741,509
その他（純額）	214,807	219,667
有形固定資産合計	4,443,495	4,160,251
無形固定資産		
のれん	71,091	66,959
リース資産	191,380	153,092
その他	219,585	214,675
無形固定資産合計	482,057	434,727
投資その他の資産		
投資有価証券	67,697	85,239
長期貸付金	89,225	53,604
敷金及び保証金	1,655,796	1,654,290
繰延税金資産	48,879	25,879
その他	99,882	88,046
貸倒引当金	△12,289	△12,289
投資その他の資産合計	1,949,191	1,894,771
固定資産合計	6,874,743	6,489,750
資産合計	13,392,425	12,542,614



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,858,296	1,417,369
未払金	740,354	625,916
短期借入金	3,561,635	3,373,645
リース債務	488,758	373,208
未払法人税等	12,773	11,593
賞与引当金	123,281	124,209
その他	557,210	433,842
流動負債合計	7,342,310	6,359,784
固定負債		
長期借入金	2,196,762	2,673,117
リース債務	966,397	637,525
繰延税金負債	46,194	44,674
退職給付に係る負債	96,534	77,852
資産除去債務	208,017	214,047
長期預り保証金	238,696	229,665
固定負債合計	3,752,602	3,876,883
負債合計	11,094,912	10,236,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,290,226	1,326,253
自己株式	△322,509	△361,379
株主資本合計	2,296,213	2,293,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,299	12,575
その他の包括利益累計額合計	1,299	12,575
純資産合計	2,297,512	2,305,946
負債純資産合計	13,392,425	12,542,614

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	23,731,224	23,054,815
売上原価	14,992,960	14,839,503
売上総利益	8,738,263	8,215,311
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,419,166	1,064,693
給料手当及び賞与	2,128,116	2,221,419
賞与引当金繰入額	121,665	123,599
雑給	1,064,169	812,745
賃借料	1,262,443	1,143,952
のれん償却額	46,839	48,965
支払手数料	766,106	1,030,470
その他	1,692,485	1,500,563
販売費及び一般管理費合計	8,500,992	7,946,409
営業利益	237,271	268,901
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,405	2,788
仕入割引	2,967	2,598
協賛金収入	81,739	41,487
受取手数料	2,227	2,936
助成金収入	1,863	—
償却債権取立益	12,900	11,135
その他	34,691	75,588
営業外収益合計	139,794	136,535
営業外費用		
支払利息	72,485	73,478
シンジケートローン手数料	41,500	31,005
その他	33,700	16,485
営業外費用合計	147,686	120,969
経常利益	229,379	284,468
特別利益		
固定資産売却益	16,555	3,487
受取補償金	36,994	34,000
違約金収入	13,107	—
保険差益	—	18,647
特別利益合計	66,657	56,135
特別損失		
減損損失	185,877	155,627
店舗閉鎖損失	17,246	32,102
違約金	15,000	—
特別損失合計	218,123	187,730
税金等調整前当期純利益	77,913	152,873
法人税、住民税及び事業税	12,773	11,593
法人税等調整額	△12,898	15,515
法人税等合計	△125	27,109
当期純利益	78,038	125,764
親会社株主に帰属する当期純利益	78,038	125,764

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	78,038	125,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,078	11,275
その他の包括利益合計	△1,078	11,275
包括利益	76,960	137,040
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	76,960	137,040
非支配株主に係る包括利益	—	—

## （3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,228,496	1,302,413	△295,807	2,335,101
当期変動額					
剰余金の配当			△90,226		△90,226
親会社株主に帰属する当期純利益			78,038		78,038
自己株式の取得				△26,701	△26,701
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△12,187	△26,701	△38,888
当期末残高	100,000	1,228,496	1,290,226	△322,509	2,296,213

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,378	2,378	1,744	2,339,224
当期変動額				
剰余金の配当				△90,226
親会社株主に帰属する当期純利益				78,038
自己株式の取得				△26,701
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,078	△1,078	△1,744	△2,823
当期変動額合計	△1,078	△1,078	△1,744	△41,711
当期末残高	1,299	1,299	—	2,297,512

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,228,496	1,290,226	△322,509	2,296,213
当期変動額					
剰余金の配当			△89,736		△89,736
親会社株主に帰属する当期純利益			125,764		125,764
自己株式の取得				△38,870	△38,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	36,027	△38,870	△2,842
当期末残高	100,000	1,228,496	1,326,253	△361,379	2,293,370

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,299	1,299	—	2,297,512
当期変動額				
剰余金の配当				△89,736
親会社株主に帰属する当期純利益				125,764
自己株式の取得				△38,870
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,275	11,275		11,275
当期変動額合計	11,275	11,275	—	8,433
当期末残高	12,575	12,575	—	2,305,946

## （4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	77,913	152,873
減価償却費	737,375	740,551
減損損失	185,877	155,627
のれん償却額	46,839	48,965
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△2,912	△18,682
受取利息及び受取配当金	△3,405	△2,788
支払利息	72,485	73,478
固定資産売却損益（△は益）	△16,555	△3,487
受取補償金	△36,994	△34,000
保険差益	—	△18,647
売上債権の増減額（△は増加）	△149,799	266,992
たな卸資産の増減額（△は増加）	△359,951	246,285
未収入金の増減額（△は増加）	△392,427	232,753
仕入債務の増減額（△は減少）	473,682	△440,927
その他	124,142	△134,255
小計	756,268	1,264,739
利息及び配当金の受取額	3,404	2,779
利息の支払額	△70,948	△76,108
法人税等の支払額	△13,218	△12,773
補償金の受取額	27,864	34,000
保険金の受取額	—	19,817
その他	△15,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	688,370	1,232,454
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△460,676	△379,434
有形固定資産の売却による収入	25,401	14,975
無形固定資産の取得による支出	△152,142	△158,008
その他	16,943	63,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△570,474	△458,986
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,500,002	—
長期借入れによる収入	1,452,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△3,242,006	△1,711,635
社債の償還による支出	△80,000	—
自己株式の取得による支出	△26,701	△38,870
配当金の支払額	△89,686	△89,213
リース債務の返済による支出	△434,102	△496,293
セール・アンド・リースバックによる収入	162,487	51,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△758,007	△284,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,169	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△641,280	488,710
現金及び現金同等物の期首残高	1,795,026	1,153,745
現金及び現金同等物の期末残高	1,153,745	1,642,456

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

## 1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 2社

連結子会社の名称

主要な連結子会社名は、「1. 経営成績等の概況 (5) 企業集団の状況」に記載しているため、省略しております。

## 2. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

## 3. 会計方針に関する事項

## (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

## ① 有価証券

その他有価証券

イ. 時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

ロ. 時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

## ② デリバティブ

原則として時価法によっております。

## ③ たな卸資産

イ. 商品

主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

また、一部の商品は個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

ロ. 製品

総平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

ハ. 原材料

移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

ニ. 貯蔵品

最終仕入原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）によっております。

## (2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

## ① 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 15～47年

機械装置及び運搬具 5～6年

## ② 無形固定資産（リース資産を除く）

自社利用ソフトウェア

見込利用可能期間（3～5年）で償却しております。

## ③ リース資産（借手）

イ. 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

ロ. 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース契約期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

## (3) 重要な引当金の計上基準

## ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の回収可能性を個別に検討して算出した貸倒見積額を計上しております。

## ② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。

## (4) 退職給付に係る会計処理の方法

一部の連結子会社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

## (5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

## (6) 重要なヘッジ会計の方法

## ① ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

なお、金利スワップ取引のうち、「金利スワップの特例処理」（金融商品に関する会計基準注解（注14））の対象となる取引については、当該特例処理を適用しております。

## ② ヘッジ手段とヘッジ対象

## イ. ヘッジ手段

金利スワップ取引

## ロ. ヘッジ対象

将来の相場（金利）の変動により将来キャッシュ・フローが変動するリスクのある借入金

## ③ ヘッジ方針

金利リスクのある借入金については、金利スワップ取引により金利リスクをヘッジしております。

## ④ ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ対象及びヘッジ手段について、それぞれのキャッシュ・フロー総額の変動額を比較し、両者の変動額を基礎にして検証しておりますが、ヘッジ対象及びヘッジ手段について元本、利率、期間等の重要な条件が同一である場合には、本検証を省略することとしております。

## (7) のれんの償却方法及び償却期間

のれんは、均等償却（5年）又は一括償却しております。

## (8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

## (9) その他の連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式によっております。



（表示方法の変更）

前連結会計年度において、「販売費及び一般管理費」の「その他」に含めていた「支払手数料」は、販売費及び一般管理費の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「販売費及び一般管理費」の「その他」に表示していた2,458,591千円は、「支払手数料」766,106千円、「その他」1,692,485千円として組み替えております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社である当社がグループ全体の戦略的マネジメント機能を担い、事業会社である連結子会社が製品・サービス別の事業活動を展開しております。したがって、当社グループの事業単位は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、主要事業として「プリント事業」、「モバイル事業」の2つを報告セグメントとしております。

「プリント事業」は、フォトショップのフランチャイズの展開及びフォトショップの経営（一部の店舗においてプリントサービスとスマートフォン等携帯端末を取り扱う複合ショップを展開）並びにWebサイトを運営し、主にデジタルプリントサービス及び写真関連商材等を販売しております。「モバイル事業」は、携帯ショップを運営し、携帯端末等を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益であり、その会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、当社グループは、事業セグメントへの負債の配分は行っておりません。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,709,179	16,022,044	23,731,224	—	23,731,224
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,709,179	16,022,044	23,731,224	—	23,731,224
セグメント利益又は損失 (△)	△354,227	627,763	273,535	△36,264	237,271
セグメント資産	7,319,588	5,152,484	12,472,073	920,352	13,392,425
その他の項目					
減価償却費	660,682	71,907	732,590	4,785	737,375
のれん償却額	536	46,302	46,839	—	46,839
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	531,724	210,007	741,731	4,931	746,663

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額36,264千円には、セグメント間取引消去額700千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△359,284千円及び当社とセグメントとの内部取引消去322,320千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
  - (2) セグメント資産の調整額920,352千円には、セグメント間取引消去額△289,323千円、各報告セグメントに配分していない全社資産7,661,007千円及び当社とセグメントとの内部取引消去△6,451,331千円が含まれております。
  - (3) 減価償却費の調整額4,785千円は、全社資産に係わる減価償却費であります。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4,931千円は、全社資産に係わる設備投資額であります。
2. セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	プリント事業	モバイル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,800,223	16,254,591	23,054,815	—	23,054,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,800,223	16,254,591	23,054,815	—	23,054,815
セグメント利益又は損失 (△)	△385,538	671,346	285,807	△16,905	268,901
セグメント資産	7,472,293	4,539,845	12,012,139	530,474	12,542,614
その他の項目					
減価償却費	648,223	85,791	734,014	6,536	740,551
のれん償却額	—	48,965	48,965	—	48,965
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	284,491	313,818	598,309	24,178	622,487

(注) 1. 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額16,905千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△321,465千円及び当社とセグメントとの内部取引消去304,560千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額530,474千円には、セグメント間取引消去額△512,924千円、各報告セグメントに配分していない全社資産8,190,929千円及び当社とセグメントとの内部取引消去△7,147,530千円が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額6,536千円は、全社資産に係わる減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額24,178千円は、全社資産に係わる設備投資額であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
1株当たり純資産額	179円22銭	181円72銭
1株当たり当期純利益	6円08銭	9円81銭

（注） 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当連結会計年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	78,038	125,764
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	78,038	125,764
普通株式の期中平均株式数（株）	12,832,061	12,813,874
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	該当事項はありません。	該当事項はありません。

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,383	326,869
売掛金	—	27,863
前払費用	9,503	4,707
未収入金	220,806	225,267
その他	14,360	2,923
流動資産合計	955,053	587,631
固定資産		
有形固定資産		
建物	19,555	23,091
車両運搬具	4,436	3,685
工具、器具及び備品	105	15,981
土地	40,200	40,200
有形固定資産合計	64,297	82,958
無形固定資産		
ソフトウェア	1,231	2,255
その他	3,543	3,111
無形固定資産合計	4,774	5,366
投資その他の資産		
投資有価証券	67,697	85,239
関係会社長期貸付金	8,397,679	9,237,679
敷金及び保証金	36,697	36,697
繰延税金資産	48,879	25,879
その他	36,333	38,289
貸倒引当金	△1,871,784	△1,830,189
投資その他の資産合計	6,715,503	7,593,596
固定資産合計	6,784,576	7,681,920
資産合計	7,739,629	8,269,552

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	1,850,002	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,298,938	1,340,403
未払金	79,251	25,555
未払費用	74,858	1,130
未払法人税等	1,210	1,210
預り金	74,900	22,692
前受収益	847	245
賞与引当金	4,380	2,317
その他	501	523
流動負債合計	3,384,890	3,244,077
固定負債		
長期借入金	1,956,882	2,616,479
資産除去債務	15,390	15,660
固定負債合計	1,972,272	2,632,139
負債合計	5,357,163	5,876,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	265,346	265,346
その他資本剰余金	963,149	963,149
資本剰余金合計	1,228,496	1,228,496
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,375,179	1,413,642
利益剰余金合計	1,375,179	1,413,642
自己株式	△322,509	△361,379
株主資本合計	2,381,166	2,380,759
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,299	12,575
評価・換算差額等合計	1,299	12,575
純資産合計	2,382,466	2,393,335
負債純資産合計	7,739,629	8,269,552

## （2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）	当事業年度 （自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
売上高	322,498	304,581
売上原価	—	—
売上総利益	322,498	304,581
販売費及び一般管理費	400,784	352,471
営業利益又は営業損失（△）	△78,285	△47,890
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	153,951	179,931
貸倒引当金戻入額	43,076	41,595
その他	14,508	27,807
営業外収益合計	211,536	249,333
営業外費用		
支払利息	37,842	48,377
貸倒引当金繰入額	—	—
その他	10,091	6,620
営業外費用合計	47,934	54,998
経常利益	85,315	146,445
税引前当期純利益	85,315	146,445
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210
法人税等調整額	672	17,035
法人税等合計	1,882	18,245
当期純利益	83,432	128,200



## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	1,381,972	1,381,972	△295,807	2,414,661
当期変動額								
剰余金の配当					△90,226	△90,226		△90,226
当期純利益					83,432	83,432		83,432
自己株式の取得							△26,701	△26,701
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	－	－	－	－	△6,793	△6,793	△26,701	△33,494
当期末残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	1,375,179	1,375,179	△322,509	2,381,166

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	2,378	2,378	1,744	2,418,784
当期変動額				
剰余金の配当				△90,226
当期純利益				83,432
自己株式の取得				△26,701
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△1,078	△1,078	△1,744	△2,823
当期変動額合計	△1,078	△1,078	△1,744	△36,317
当期末残高	1,299	1,299	－	2,382,466

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
当期首残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	1,375,179	1,375,179	△322,509	2,381,166	
当期変動額									
剰余金の配当					△89,736	△89,736		△89,736	
当期純利益					128,200	128,200		128,200	
自己株式の取得							△38,870	△38,870	
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	—	—	38,463	38,463	△38,870	△406	
当期末残高	100,000	265,346	963,149	1,228,496	1,413,642	1,413,642	△361,379	2,380,759	

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	1,299	1,299	—	2,382,466
当期変動額				
剰余金の配当				△89,736
当期純利益				128,200
自己株式の取得				△38,870
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	11,275	11,275		11,275
当期変動額合計	11,275	11,275	—	10,868
当期末残高	12,575	12,575	—	2,393,335